

## 1 受審事業者

経営法人・設置主体（法人名等）：恵那市	
名称：恵那市立 おさしま二葉こども園	種別：保育所型認定こども園
代表者氏名：園長 里見 みゆき	定員：195名
所在地：岐阜県恵那市長島町永田 441 番地の 1	TEL：0573-25-2265
受審回数：6回	
評価年月日（評価認定書の記載日）：令和7年3月19日	
継続評価年月日（評価認定書の記載日）：令和8年3月31日	

## 2 総 評

### ◇特に評価の高い点

- ・年度初めに各職員に自己評価と合わせ目標設定を行い、個人の課題を明確にした上でそれぞれの課題に応じた研修ができるようにするなど、率先して保育の質の向上・職員育成に取り組んでいる。保育教諭として経験の浅い職員もおり、若い職員同士での話合いの場を設けるなど、人事管理に配慮している。
- ・休暇が取りやすい職場環境とするため、週2日代替え保育士に来てもらい、その職員の出勤に合わせ職員は計画的に休暇を取るようになっている。
- ・意見箱を設置し、受諾した文書は園長を中心に速やかに検討・対応がなされる等、保護者の意見が届きやすくされている。保護者用配信アプリやクラス通信を利用し、保護者にわかりやすく大切なことも知らせている。

## 3 第三者評価結果に対する事業所のコメント

### 保育の質の向上について

保育の質の向上への取り組みを高く評価いただき、心より感謝申し上げます。職員の心身のゆとりが子どもたちへのより良い環境提供に直結すると考え、今後も職員一人ひとりを大切に作る職場づくりを推進してまいります。

### 職場環境の改善について

職員が互いに尊重し合い、安心して休暇を取得できるような体制づくりに努めてまいります。風通しの良い職場環境を維持・向上させることで、組織全体の活力を高めていく所存です。

### 利用者満足の向上について

今後も保護者の皆様から「この園を選んで本当によかった」と信頼し続けていただけるよう、職員一丸となって、質の高い保育の提供と誠実な運営を目指してまいります。

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	
1-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>恵那市の指定管理施設であり、市としての理念・基本方針が示されており、園の職員には職員会等で、保護者には保護者会総会、参観や園だより等で周知が図られている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に資料を用いて説明する機会を持つ。</li> <li>・ホームページや通信などを用いてわかりやすい説明を行う。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>恵那市の指定管理施設であり、市としての理念・基本方針が示されており、園の職員には職員会等で、保護者にはホームページの他、保護者会総会、保護者参観や4・5月の園だより等で周知が図られている。</p>	
	第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
1-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>職員面談に先立ち、年度初めに各職員が自己評価と合わせ目標設定を行い、その後行う年3回の職員面談で検証するなど、質の向上に向けたシステムが構築されている。また、毎月園内研修（公開保育）を行うと共に、恵那市主催の研修会を始め、各種外部研修への参加等、保育の質の向上に向けた取り組みが計画的に行われている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会ではPDCAサイクルを意識して行事計画等を立案し、反省・考察し保育の質の向上に努める。</li> <li>・保育計画は職員→主任→副園長→園長の順にチェックし、職員会で話し合う機会を持つ。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>年度初めに各職員が自己評価と目標設定を行い、その後行う年3回の職員面談で検証するなど、保育の質の向上に向けたシステムが構築されている。毎月園内研修（公開保育）を行うと共に、市主催の研修会を始め、各種外部研修への参加等、園として計画的に進めている。第三者評価は、職員で項目を分けて記載するなど、職員への意識付けも行っている。</p>	

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	
Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>園長は、年度初めに各職員に自己評価と合わせ目標設定を行わせ、その後行う年3回の職員面談で検証するなど、率先して職員育成に取り組んでいる。毎日の朝礼や職員会等で、自らの運営方針等を具体的に示しながら、指導に当たっている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員分掌を文書化し、内容について職員が誰でも理解し係の仕事が出来るように取り組む。マニュアルを作成するときにわかりやすい内容になるように工夫する。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>事務分掌表を職員室に掲示し、またパソコン内にも各係の仕事内容を具体的に入れ、職員の理解が進むよう改善を図った。職員会で、園長の責務について改めて周知し、不在時の権限について副園長や主任に委任する旨を明確にした。</p>	
Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>園長は、年度初めに各職員に自己評価と合わせ目標設定を行わせ、その後行う年3回の職員面談で検証するなど、率先して職員育成に取り組んでいる。保育教諭として、経験の少ない職員もあり、若い職員同士での話合いの機会を設けるなど、人事管理に配慮している。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別面談をし、個人の課題を明確にした上でそれぞれの課題に応じた研修を受講できるようにする。</li> <li>保育の質の向上に向けて、目指す職員像に合わせた資料等を準備して園内研を行う。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>園長は、年度初めに各職員に自己評価と合わせ目標設定を行い、個人の課題を明確にした上でそれぞれの課題に応じた研修ができるようにするなど、率先して保育の質の向上・職員育成に取り組んでいる。保育教諭として経験の浅い職員もあり、若い職員同士での話合いの場を設けるなど、人事管理に配慮している。</p>	

### Ⅱ-2

	第三者評価結果
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
Ⅱ-2-(2)① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組	a

んでいる。	
<p>前回評価結果：a</p> <p>年3回全職員と個別に面談を行い、職員の心身の健康と安全確保に努めている。出勤簿の管理を徹底する中で、有給休暇の取得状況の把握等、労務管理にも力を注いでいる。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に面談を行い、職員の心身の健康と安全の確保に取り組む。</li> <li>・働きやすい職場とはどういうものかについて職員間で話し合う機会を持つ。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>休暇が取りやすい職場環境とするため、週2日代替え保育士に来てもらい、その職員の出勤に合わせ職員は計画的に休暇を取るようにしている。また、これに合わせ、行事計画の見直しも行った。職員とは定期的に職員面談を行い、職員の心身の健康と安全の確保に取り組んでいる。</p>	
	第三者評価結果
Ⅱ-2(3)② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
<p>前回評価結果：b</p> <p>外部研修の受講が、希望する職員が参加する形となっているため、受講回数において職員間で若干の不均衡が生じている。内容によって、園として受講することが望ましいと判断した場合は、該当する職員に受講を促すといった計画に基づいた職員育成に期待したい。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市主催の初任者研修、2年目研修、3年目研修を該当する職員が受講する。</li> <li>・経験年数5年未満の職員が、恵那市主催の未満児研修、支援研修に参加する。</li> <li>・外部研修はオンラインなどを利用して複数人受講できるようにする。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>恵那市立施設であるため、恵那市幼児教育の方針と重点に基づいた①職務に応じた研修②経験に応じた研修③スキルアップ研修が計画的に実施され、経験年数や職階等に応じて参加している。また、毎月園内研修（公開保育）を行っており、その他各種外部研修にも職員の役割・経験年数等を考慮し、職員間で不均衡が生じないよう配慮しながら参加を促している。</p>	

### Ⅱ-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	
Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<p>前回評価結果：b</p> <p>保護者へのアンケートの対象が3歳以上児の保護者のみとなっており、未満児の保護者を含めた全部の保護者を対象としたアンケートの実施が望まれる。</p>	

<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恵那市の保護者アンケートは以上児を対象としたものになっているので、今年度は未満児に対して以上児のアンケートに沿って園独自のアンケートを実施する。</li> </ul>
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>園の事務・経理等については、内部監査・外部監査を受け、透明性の高い適正な運営に努めている。また、市が保護者アンケート（3歳未満児保護者を除く）を行い、結果を公表している。3歳未満児保護者については、園独自でアンケートを行っている。</p>

### 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-2 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	
Ⅲ-2(1)① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づき、恵那市教育委員会が中心となりまとめられた本園の教育・保育課程は、標準的な実施方法に基づき実施されている。</p> <p>今後より一層、特色ある実施計画及び方法を確立するために、保育課程に沿って活動を行うに留まらない、担当する子どもの発達状況、固有の環境等を織り交ぜ、園また保育教諭自らが方法を考え、それを標準化していくことが期待される。より創造的で個性豊かな保育・教育活動の展開、ただしそれは一人勝手ではなく誰からも認められる「標準的な実施方法」であるという認識が大切である。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恵那市のこども園運営の手引きを利用し職員研修を行う。</li> <li>・ 保育実践について、確認のための研修会を行う。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>恵那市立施設であるため、恵那市幼児教育の方針と重点に基づき作成され、年度毎に更新される「恵那市こども園運営の手引き」を利用し職員研修を行い、さらに職員会で標準的な保育の実施方法などを確認しながら実践している。</p>	
Ⅲ-2(1)② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>見直しの大切さは良く理解されており、様々な会議の場で話し合われ、よりよい計画・策定へと導こうとする姿勢が評価される。大切なのは形式・様式ではなく、“必要に応じて”の構えであり、多くの職員の日頃の実践に基づく英知を結集していくことが大切であろう。“意見のしやすい”環境に努める姿勢が高く評価されると考える。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育計画をその年度の子どもの実態に合わせて見直していく。</li> <li>・ 園評価や保護者会議などから保護者の意見を吸い上げ、計画を策定する。</li> </ul>	

<b>継続評価結果</b>	
<p>保育計画は、その年度のこどもの実態に合わせ、見直しを行っている。また、園評価や保護者会議等から保護者の意見も吸い上げ、計画を策定している。こうした様々な意見を集約しての見直しが園として組織的に行われている。</p>	
	第三者評価結果
Ⅲ-2- (2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている	
Ⅲ-2-(2)① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>適切な手法に基づき計画の策定を行おうとする姿勢はよく理解でき、様々な方法を駆使しようとする努力が認められる。</p> <p>「アセスメント」は直訳すれば「評価」であるが、一般的な評価より厳密な手法を用いることを要求している。つまり厳密なというのは、「客観的なデータに基づいて」評価をすることであるが、実践の場で大切なのは、あまり“客観的”を強調しすぎることなく、まずは具体的にどのような資料を大切にしているかを明らかにすることであろう。実践記録は当然確認をすることで、保護者の意見は参考にするのかしないのか、アンケートはとるのか取らないのか等、資料となるものを明確にすることが第一であろう。さらには、誰が中心となるのか、いつ行うのか、どのような会議にかけるのか等もアセスメントの手法の一部であり、指導計画は保育活動の根幹であることを踏まえ、そこに資する内容となるよう方法を確立していただきたいと考える。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園評価、第三者評価のアセスメントに基づいて計画を策定する。</li> <li>・振り返りや評価・反省を行い、次回からの計画に活かす。</li> </ul>	
<b>継続評価結果</b>	
<p>保護者アンケート結果、職員が行う自己評価等を踏まえ、その年度のこども園評価結果報告書を取りまとめ、市への報告が行われている。園では、その結果を踏まえ職員会等で検討を重ね、園の全体的な計画等が作成されている。振り返りや評価・反省を行い、次回からの計画に活かすシステムが確立している。外国籍の園児が増加し、言葉・食事・生活習慣の違い等で苦慮しながらも、子どもに寄り添い、個々の園児の特性を活かす保育に取り組んでいる。</p>	

#### 評価対象Ⅳ 保育内容

	第三者評価結果
Ⅳ-1 全体的な計画の作成	
Ⅳ-1-(1) 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>こども園の理念、保育の方針や目標を恵那市の保育園運営手引をもとに作成され、恵那市の保育園として存在を表す姿勢を感じる。年間計画、月案等は、その年のこどもの実態や様子に合わせて作成され、毎年見直しを上司を交えて行われている。</p>	

<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの実態に合わせて年間計画、月案などを見直し作成していく。</li> <li>・全体的な計画は、保育に関わる職員で作成する。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>こども園の理念、保育の方針や目標を恵那市の保育園運営手引きを基に作成され、その年の子どもの状態に合わせ、年間計画・月案を作成されている。</p>	
	<p>第三者評価結果</p>
<p>IV-2 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開</p>	
<p>IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している</p>	<p>a</p>
<p>前回評価結果： a</p> <p>保育室、園庭など広々とした場が設定され、子どもたちが伸び伸びと遊び込める環境が整えられている。手洗いも各部屋に設置され衛生的である。また、採光・騒音・ダニアレルゲン・化学物質の室内濃度測定器を置くなど適正な環境が整備されている。玩具、寝具等も保育後に消毒を行うなど、衛生管理されている。室内で遊ぶことが多いため、コーナーを作り子どもたちが落ち着いて遊ぶ環境作りがされている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採光、騒音、アレルゲン、化学物質の室内濃度測定など、学校環境衛生検査を行い、適正な環境を整備する。</li> <li>・園内の玩具や寝具の衛生管理に努める。</li> <li>・食事や睡眠が安心して行えるよう、心地よい空間を整える。</li> <li>・園内の遊具、設備に不具合を見つけた時は、報告し、早急に修理、点検を行う。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>採光、騒音、アレルゲン、科学物質の室内濃度測定など学校環境衛生検査を行っている。園内外の遊具等、毎月点検も行い、不具合を見つけた時には早急に修理を行っている。夏場の高温や冬場の日当たり具合など対処をしている。</p>	
	<p>第三者評価結果</p>
<p>IV-2-(2) 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。</p>	<p>a</p>
<p>前回評価結果： a</p> <p>外国籍、支援児が多いので担当者は困り感を持っているが、職員会等で子どもの状態に応じた保育が行えるように話し合いがされている。しかし、一人ひとりの子どもを受容しきれていないと感じている保育教諭もいる。子どもに寄り添い、子ども一人ひとりを受容したいとの思いを感じさせる。悩み、戸惑いを抱え前に向いて保育を行って行きたいとの表れと捉えられる。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会などで、子どもの状態に応じた保育について話し合う機会を作り、職員間で情報共有していく</li> <li>・外国籍の保護者にも子どもの発達分かるように丁寧に話をしていく</li> <li>・穏やかに接し、せかしたり、制止したりすることがないよう、子どもに分かりやすい言葉づかいで穏やかに話をする</li> </ul>	

<b>継続評価結果</b> 外国籍の保護者には、個々に翻訳機能を使用しながら対応している。子どもに対しても、わかりやすい言葉づかいかや穏やかに話をして接することを心掛けている。	
	第三者評価結果
IV-2-(5) 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>前回評価結果：b</p> <p>保育の時間が長くなり、保護者と直接話し合える時間の確保が難しく、子どもの細かな様子などを伝え合えないことがある。0才児は特に家庭との連携が、健康管理や情緒の様子の把握が日々の保育に大きく影響するため、保育教諭のローテーションなどを工夫し、直接話し合う機会をもたれることが望ましい。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な人員配置をして、0歳児に十分に配慮をし、安心して過ごせる環境を整備する。</li> <li>個々の発達過程に応じ、丁寧な保育を心掛ける。</li> <li>子どもが興味や関心が持てるようなあそびを取り入れる。</li> </ul>	
<b>継続評価結果</b> 適切な職員配置をして、安心して過ごせる環境を整え、手作りおもちゃを作り興味関心が持てるよう心掛けている。子どもの様子を登降園時に口頭で対応している。	
	第三者評価結果
IV-3-(3) アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>アレルギーや慢性疾患のある子に対して管理表の提出をしてもらっている。保護者、担任、看護師、管理職で面談を行い、保育を進めている。入園時アレルギー面談を行っている。アレルギー食は、除去食で行い、日々の提供時には、調理員、担任、園長でチェックし、給食ノートに記載されて提供している。食器はわかりやすく色を変えて提供されている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>給食時の誤食を防ぐために、担任、給食職員、管理職の三者でチェックする。</li> <li>アレルギーや慢性疾患のある子どもに対し、管理表の提出を求め、担任、給食職員、管理者で面談を行い、保護者と対応を協議し、配慮していく。</li> <li>各クラスには、アレルギー疾患の子の名前を表示し、誰でも把握しやすくしておく。</li> <li>必要な知識、情報など、定期的に確認し合う場や研修等に参加する。</li> </ul>	
<b>継続評価結果</b> アレルギーや慢性疾患のある子どもに対し、管理表を提出してもらい、入園時に看護師も含め面談を行っている。各クラスにはアレルギー疾患の子の名前を表示し、別の机でお皿の色を替えて食べている。	

	第三者評価結果
IV-4-(1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>楽しく食事がとれる雰囲気作り、一人ひとりによって食事の量を加減し、達成感が味わえるように行っている。未満児クラスは、絵本や玩具を使い食に関心が持てるようにしたり、専門家による「エーナ健幸体操」を通して、体に給食がどんなに大切であるか教えてもらうなど食を楽しむ工夫がされている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく食事がとれるような雰囲気づくりや量も一人ひとり調節をし、食べられた喜びや食べてみようと思える環境づくりを行い、園での様子を保護者にも伝え、家庭につなげる。</li> <li>・行事食について、メニューや食材を子どもたちに話し、知る機会を増やし、給食を提供する。</li> </ul> <p>(ドキュメンテーションやサンプル写真などを使う)</p>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>楽しく食事がとれるような雰囲気づくりや一人ひとりの食事の量を加減し、達成感が味わえるように行っている。行事食についてドキュメンテーションやサンプル写真などを使って家庭に知らせている。</p>	
IV-4-(2) 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
<p>前回評価結果：b</p> <p>毎日子どもたちが楽しく美味しく食べている給食が、保護者にも食事の内容がわかるように展示食をされると良いと思う。親子の会話も豊かになったり、メニューの作り方などを知らせたりすることで家庭の食も豊かになると思われる。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事食や郷土食に配慮した献立を提供する。</li> <li>・担任は、子どもの食べる量や好き嫌いを把握する。</li> <li>・恵那市の栄養士が立案した献立を基に、給食を提供する。</li> <li>・衛生管理の体制の確立。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>恵那市が立案した献立をもとに給食を提供している。行事食や郷土食も提供している。手作りおやつを週に何回か提供している。</p>	

## VII-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
VII-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	a
<p>前回評価結果：b</p> <p>施設が常時されていないことは、子どもたちの安全を守るには心配である。広い園舎であるので保育園の職員だけでは安全を確保するには困難と思われる。</p>	

<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者対応訓練を行い、侵入者対応の仕方、地域、関係機関との連携を図る。</li> <li>・職員一人ひとりが子どもの命を守る意識を高めていく。</li> <li>・通用出口の施錠の確認を行う。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>不審者対応訓練を年に3回行っている。さすまたの使い方など、職員の研修を行い一人ひとりが子どもの命を守る意識を高めていくようにしている。</p>	
	<p>第三者評価結果</p>
<p>VII-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている</p>	<p>a</p>
<p>前回評価結果：a</p> <p>年間行事を年初めに知らせて保育参加してもらえるようにしている。保育参観は、1学期に1回程度行われている。参観後は、保護者の感想や懇談会の内容をまとめて掲示されている。子どもの作品の見学は、随時受け入れられている。保護者に、プールの組み立て・解体や園内整備の協力をしてもらっている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参観日以外の普段の保育でも参観できる機会を作る。</li> <li>・早めに保育参観の日時を知らせ、保護者に参加しやすい機会を作る。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>各学期に一回程度保育参観ができる機会を作っている。保護者用配信アプリやクラス通信を利用し、保護者の感想や懇談会の内容をまとめて知らせている。参観以外のサッカー教室や木育教室なども知らせている。</p>	
	<p>第三者評価結果</p>
<p>VII-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。</p>	<p>a</p>
<p>前回評価結果：a</p> <p>保護者会の開催は、保育園を使用し行われ、職員の代表も参加している。意見箱の設置を保護者に知らせ、保護者の声が届くようにされている。卒園時のコサージュ作りの講師を保護者に依頼するなど園に協力的である。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会を開催して、親の意見聞く機会を設ける。</li> <li>・意見箱を設置し、保護者の意見を届きやすくする。</li> <li>・地域の方のために、2F 交流室を開放し、利用してもらう。</li> <li>・園での奉仕活動や畑作りの手伝いや卒園児のコサージュ作りなど保護者の方に参加してもらう機会をつくる。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>意見箱を設置し、受諾した文書は園長を中心に速やかに検討・対応がなされる等、保護者の意見が届きやすくされている。園での奉仕活動や卒園児のコサージュ作りなど保護者に参加してもらうようにしている。2F 交流室を開放し未就園児の親子など年に10回利用してもらう。</p>	